

| | | | | | | | |
|-------|-------|----|-----------|-------------|---|--------|-------|
| 教科・学科 | 家庭 | 科目 | 家庭総合 | 単位数 | 2 | 学年 | 2 |
| 使用教科書 | 家庭総合 | | 発行者の番号・略称 | 9 開隆堂 | | 教科書の番号 | 家総310 |
| 指導者名 | 島田 絢子 | | 副教材等 | 2020生活学Navi | | | |

1 学習の到達目標

- ・人だけにみられる被服を着るという生活行動について、その目的や被服の機能、管理の仕方を学ぶ。
- ・被服製作を通して、簡単な縫製技術を習得し、ものづくりの達成感を実感する。
- ・自主的、合理的に社会の一員として行動する自立した消費者になるための知識と判断力を養う。
- ・自分と異なる世代の心身の特徴や生活について理解を深め、共生していく感性を養う。
- ・健康に生活するために基本となる食生活の意義や重要性について理解する。
- ・食品の栄養や調理上の特性などを学び、調理技術を高め実践的態度を養う。
- ・食の安全性や伝統的な食文化などにも広く関心を持ち、自分の食生活をデザインできるようにする。

2 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのかを含む)

| 単元名 | 項目 | 学習のねらいと学習活動(指導内容) |
|----------------------------|--|--|
| ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動(1学期) | ホームプロジェクト | 「日常生活について考える」をテーマに、家庭生活における課題設定から問題解決活動までを主体的に取り組む。また、発表活動を通して他者との情報共有につなげる。 |
| 着る(1学期) | 人間と被服 被服の選択 被服の着用 被服の管理 これからの衣生活 被服をつくる | <ul style="list-style-type: none"> ・着装目的や被服の機能について知る。 ・被服計画の立て方や繊維製品の表示について理解する。 ・被服の材料である天然繊維や合成繊維、被服に要求される性 ・被服の適切な管理について理解する。 ・繊維産業の実態や不要衣服の有効利用について考える。 ・被服製作を通して、手縫いの基礎を習得する。 |
| 消費者市民として生きる・生涯の生活設計(1学期) | 消費生活の変化とその課題・持続可能な消費生活 消費行動と意思決定 消費者の権利と責任 | <ul style="list-style-type: none"> ・被服の生産を通して、持続可能な消費生活について考え、理解を深める。 ・成人年齢引き下げに伴い、契約の重要性と消費者保護の仕組みを理解する。 |
| 期末考査(1学期) | | |
| ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動(夏季休業中) | ホームプロジェクト | ・4月の取り組みをふまえ、また、家庭科で学習した知識や技術技能を用いて、家庭生活における課題設定から問題解決活動までを主体的に取り組む。 |
| 子どもの発達と保育・福祉(2学期) | 子どもの発達と生活 親の役割と子育て支援 子どもの権利と福祉 | <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児の心身の発達や生活について理解する。 ・協力して子育てをすることや、支援策について理解する。 ・児童虐待問題を通して子どもの権利や福祉について理解する。 |
| 高齢者の生活と福祉(2学期) | 高齢者と関わり理解する 高齢者の生活と課題 人間の尊厳とケア 高齢社会の福祉 | <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者疑似体験を通して、加齢に伴う心身の変化を理解する。車椅子体験を同時に行い利用者への理解を深め適切な介助について考える。 ・高齢社会の現状と問題点について学ぶ。 ・介護の3大原則など介護者の心得について学ぶ。 |
| 食べる(2学期) | 人間と食べ物 食品と栄養 食事をつくる | <ul style="list-style-type: none"> ・食事の役割や、変化する食生活について学ぶ。 ・だしの飲み比べを通して、日本や世界の食文化について理解を深める。 ・栄養素の種類や働きについて学ぶ。 ・調理実習を通して、基本的な調理の技術と知識を習得する。 |
| 期末考査(2学期) | | |
| 食べる(3学期) | 食事を調える 食品の衛生と安全 これからの食生活 | <ul style="list-style-type: none"> ・班員と協力して献立や調理計画を立て、バランスのとれた食事を作る。 ・食品の栄養や調理上の性質について学ぶ。 ・食生活の実態を知り、消費者としてできる取り組みについて考える。 |
| 期末考査(3学期) | | |

※年間指導計画は予定であり、変更する場合があります。

| | | | | | | | |
|-------|-------|----|-----------|-------------|---|--------|--------|
| 教科・学科 | 家庭 | 科目 | 家庭総合 | 単位数 | 2 | 学年 | 3 |
| 使用教科書 | 家庭総合 | | 発行者の番号・略称 | 9 開隆堂 | | 教科書の番号 | 家総 310 |
| 指導者名 | 島田 絢子 | | 副教材等 | 2019生活学Navi | | | |

1 学習の到達目標

- ・家族の生活の器である住まいに関心を持ち、安全で快適な生活を送るための方法を理解する。
- ・子どもの発達について、特に親となる視点からとらえ、その責任や社会的支援について考えを深める。
- ・資源や環境に配慮した適切な意思決定と責任ある消費行動が実践できるようにする。
- ・自主的、合理的に社会の一員として行動する自立した消費者になるための知識と判断力を養う。

2 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのかを含む)

| 単元名 | 項目 | 学習のねらいと学習活動(指導内容) |
|-------------------------------|---|--|
| ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動(通年) | ホームプロジェクト | 「日常生活について考える」をテーマに、家庭生活における課題設定から問題解決活動までを主体的に取り組む。また、発表活動を通して他者との情報共有につなげる。 |
| 消費者市民として生きる(1学期) | 家計のマネジメント 消費者行動と意思決定 消費者の権利と責任 持続可能な消費生活 | ・初任給や学費、生活費などの実態を把握し、生活設計ができて ・消費者としての意思決定や自己責任などについて学ぶ。 ・資源やエネルギー、ごみの問題に関心をよせ、自分たちが毎日の生活の中でできることを考える。 ・環境先進国の取り組みについて学び、わが国のこれからの消費生活の在り方について考える。 |
| 生涯の生活設計(1学期) | リスクに備える キャリアを見通す | ・生活を支える社会保障制度について学ぶ。 ・一生のうちに起こりうるライフイベントについて学び、生涯を見通した生活設計を行う。 |
| 住まう(1学期) 期末考査(1学期) | 人間と住まい 様々な住まいと暮らし方 安全な住まい まちづくりと住まい | ・住まいに関する基礎的、基本的な知識を身につける。 ・災害が増える中で、自分と他者とが安全に暮らし続けられる住まい方、まちづくりを考える。 |
| 子どもの発達と保育・福祉(2学期) | 親の役割と子育て支援 子どもの発達と生活 親の役割と子育て支援 子供と関わる 子供の権利と福祉 | ・マタニティ体験を通して、妊娠・出産、子育てについての理解を深める。 ・沐浴実習を行い、乳幼児の身体の発達や育児方法について学ぶ。 ・親になることの責任について考え、父母が共同で子育てに参加することの意義を考える。 ・家庭保育や集団保育の状況について知り、子育ての社会的支援について考えを深める。 ・少子化問題の原因について理解し、子育てを楽しめる社会の在り方について考える。 |
| 自分を見つめる(2学期) 期末考査(2学期) | 人の一生と発達課題 青年期を生きる | ・今の自分が、ライフステージのどの段階に位置するのかを考え、自分のこれまでと今、そしてこれからについて考える。 |
| 家族・家庭と社会(3学期) | 現代の家族と家庭の機能 現代の家族の特徴 家族の法律 | ・家庭の機能や現代家族の特徴、家族を支える社会制度などについて学ぶ。 ・職業生活の意義や男女共同参画の社会の在り方について理解した上で、自分の将来の生活を自分なりにデザインする。 |

※年間指導計画は予定であり、変更する場合があります。